

州見台

木津川市立州見台小学校

令和4年3月1日発行 第13号

めざす児童像

かしこく……めあてをもち、すすんで学ぶ子ども
やさしく……優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
すこやかに……元気で、くじけず、やり抜く子ども

URL <http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/>

有終の美を！



「1月は行く」、「2月は逃げる」と言われる2ヶ月は足早に去り、気が付けば3月を迎えました。「3月は去る」…この1ヶ月もすぐに過ぎてしまうと思われま。先月は、冬のオリンピックがあり、ステイホームの単調な毎日に彩り（いろいろ）を与えてくれました。夏のオリンピックに続いての国際的なイベント。一瞬を競う競技も、長い時間をかけて熟考の末に行う競技もありました。種類はいろいろですが、全ての選手が、その日のために、4年間、心血の全てを注いできたという事実は同じで、テレビ画面に釘付けになるシーンがたくさんありました。このあと、3月4日から13日までではパラリンピックも開催されます。こちらも楽しみです。

“平和の祭典”が終わったのも束の間、新聞やテレビでは、「侵攻」「空爆」「侵入」「破滅的な人命の損失をもたらす戦争を選んだ」「選択の余地なかった」等の文字があふれています。各国、様々な事情があるのだとは思いますが、それにしても今の時代に、こんなことが起こるとは、にわかには信じがたい現実です。12月の給食の時間に、元ビートルズメンバーのジョン・レノンさんによる『ハッピークリスマス』を聴いていました。“争いは終わるよ、みんなが望みさえすれば”と歌われていたのに…ずっと注視する必要があります。

そしてコロナ禍。この間、1月に入ってからコロナの感染状況は、世界のピークからは遅れましたが、日本でも深刻な状況です。多くは、重篤な症状にならないということですが、罹患してしまうと、患者さんは病気からの回復が必要であり、そのご家族は濃厚接触者となり、普段通りの生活を送ることはできず、随分とストレスが高じる日常となります。心よりお見舞い申し上げます。学校においては、学級閉鎖も行いましたが、多くは各クラスに分散した感染状況で、クラスター化していないことは、お家の方々のご支援や各担任の先生方の対策のおかげであったと考えます。本当にありがとうございます。引き続き、可能な限りの対応にご協力ください。



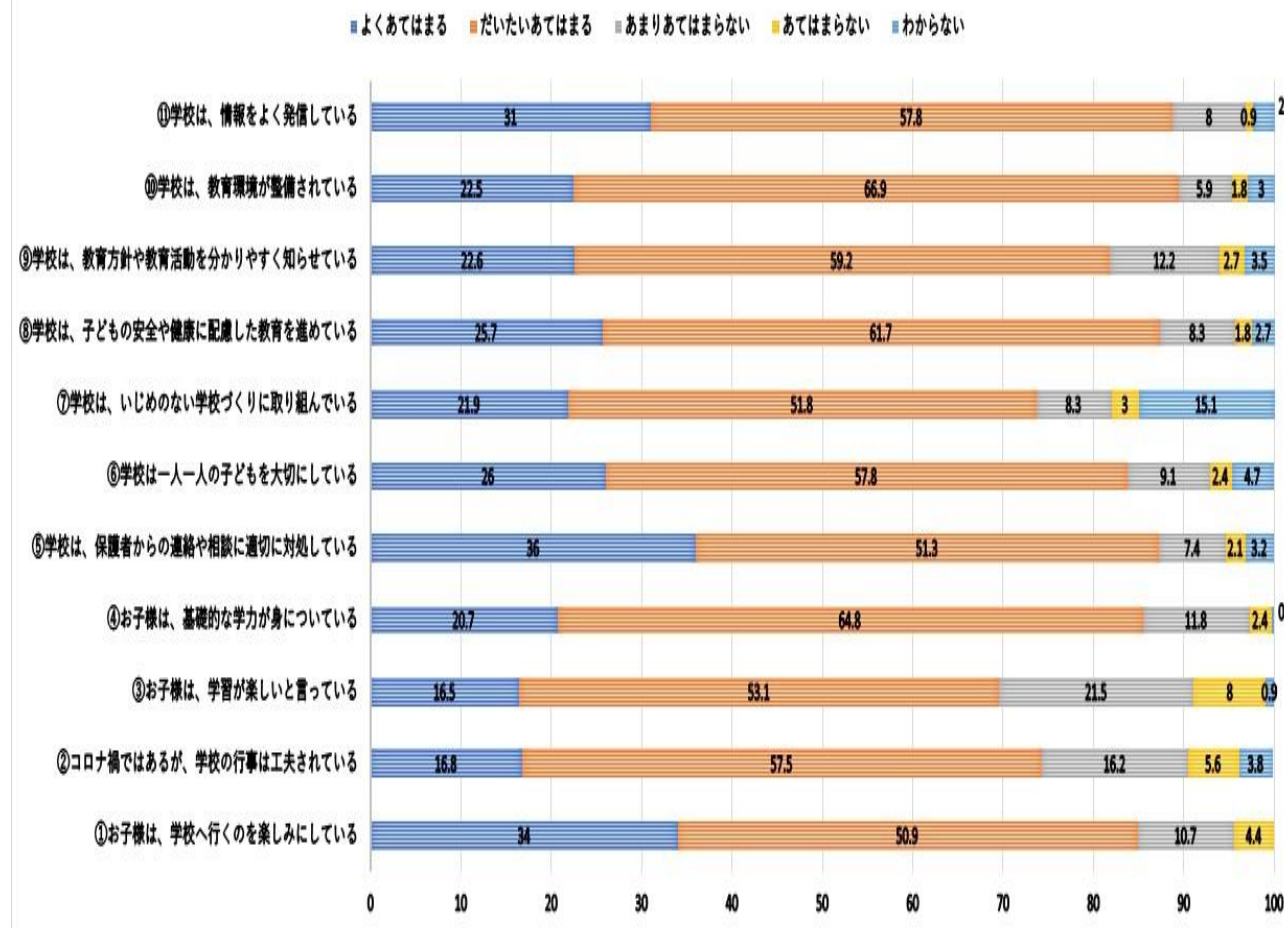
『有終の美を飾る』というフレーズがあります。「与えられたことを最後までしっかりとやり、立派に、技能や価値などを高めること。また、終わり方が、とてもきれいであること。」のような意味があります。制約を受ける毎日を、それでも子どもたちは元気に、しなやかに過ごしています。我々大人は、そんな彼女たちが、年度の終わりに有終の美を飾れるよう、精一杯の協力を惜しまず、見守り育てていきましょう。

学校評価アンケート

※アンケート結果については、学校ホームページにも掲載しています。
(より見やすいです)



令和3年度 学校評価 保護者アンケート



昨年度に引き続き、通常の教育活動を実施しにくい今年度でした。授業の内容や学校行事、生活様式等を吟味して、可能な限り感染リスクを抑えた上で、なおかつ子どもたちの思い出に残る学校生活とするため、教職員一同、一生懸命に取り組んできました。感染者が出る度に、メールにより感染者数のみをお知らせすることは本当に心苦しく、ご心配もおかけしたものと存じます。それでも一斉休校の措置にすることなく、保護者の皆様のご協力・ご支援をいただきながら、学校生活を継続できたことは今年度の成果でした。時には、児童および保護者の皆様のお気持ちに寄り添えなかったこともあったかと思います。ご容赦いただくとともに、来年度への課題とさせていただきます。自由記述の回答欄で頂戴しましたご意見につきましては、全職員で共有し、今後の教育活動に反映させて参ります。常に感染に注意した制限付きの学校生活でしたが、「お子様は学校へ行くのを楽しみにしている」の問に対して、およそ85%の保護者の方から「だいたいあてはまる」との回答を得たことを励みに、さらに学ぶこと、友だちと過ごすことが楽しいと思える児童が増えるよう、職員一同団結して教育活動を行って参ります。令和4年度も、よろしくお願いいたします。